

学校関係者評価及び学校自己評価（教職員）の結果（令和5年12月実施）

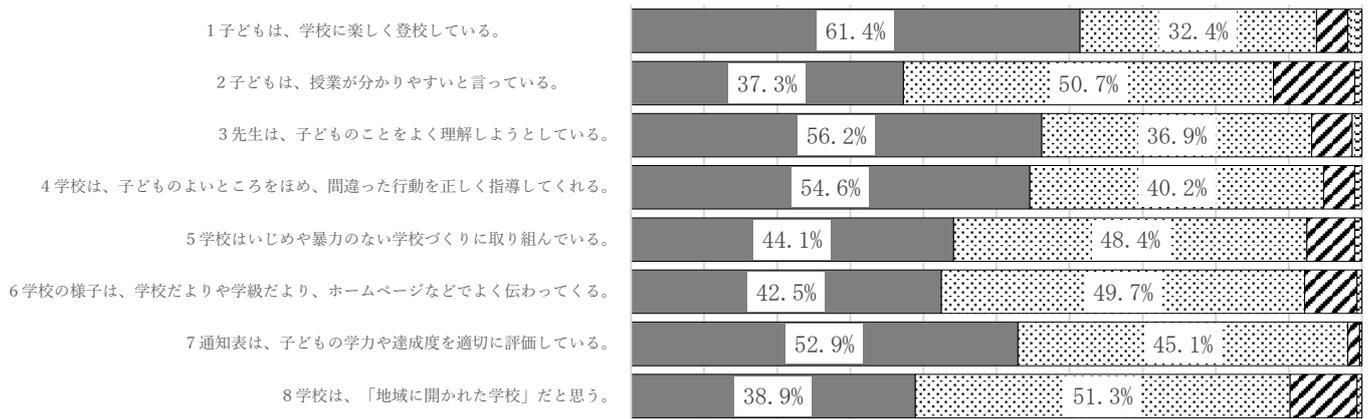
○評価していただいた学校関係者は、学校運営協議会委員様及びP T A本部役員様です。

○各項目について4段階評価をしました。（4：達成 3：おおむね達成 2：やや不十分 1：不十分）

○数値は平均値です。

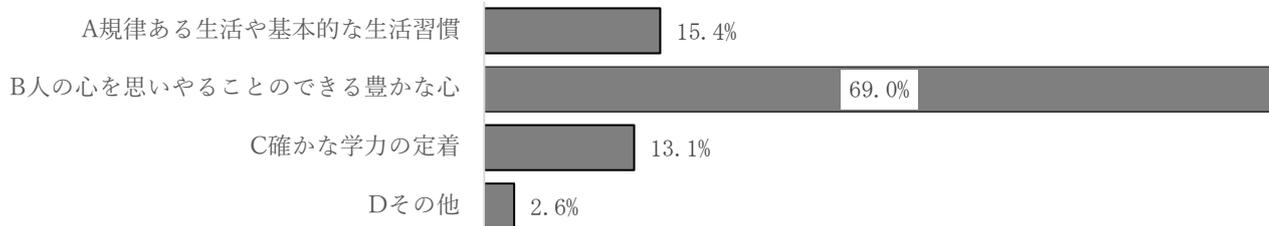
No	評価項目	学校関係者		教職員	
		評価	説明及び改善策	評価	説明及び改善策
1	学校は、特色ある学校づくりに取り組んでいる。	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の学校だよりでお知らせしてもらっている。 ・町内3小学校のHPを見ました。それぞれに「特色」あるHPです。HPの特色ではなく「学校の特色」が麗（おぼろ）です。 ・「笑顔であいさつ日本一」が児童の中に浸透している事例を聞き、日々の実践の成果が実感できました。 	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・校長先生から毎週便りが届き、参考にしながら教育活動を進められる。 ・特色ある学校づくりを積極的に実践しています。 ・二小の特色って何？と聞かれると難しいです。
2	学校は、積極的に生徒指導に取り組んでいる。	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・コミコミキッズなど積極的に取り組んでいることは理解できます。日常における家庭・地域との連絡は更に改善の要。 ・「二小の約束」や学校だよりで「月の生活目標」を知らせたりしています。二小NEWSを読むと約束や生活目標を意図した数々の指導を理解することができます。アンケートや自己評価などで数値化できないでしょうか。 	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導において教師主体の管理ありきの生徒指導だけではなく、児童が自ら考え失敗からも学ばせる発達支持的生徒指導の充実が必要。 ・児童の外面の変化に気づくことが不十分である。職員一人一人の気づく力を向上させることで、児童の外的不安要素から未然に防ぐ必要がある。 ・生活目標の先生方の工夫をこらした講話の取り組みが子どもたちの意識づけにもつながっていると思います。
3	学校は学校教育目標の実現に取り組んでいる。	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業や指導者を招いての研修等があることをHPで公開されていた。 ・授業時数の累計把握には個人的には確認できていない。 ・県や町の教育指導関係者視察からどんな指導を受けているのか不明です。 	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の先生が6年生の授業に入ったり、少人数の算数が実施できたり、各学年に支援員さんがいたり、授業の形としては恵まれていると思います。 ・教える指導が横行しているので、一緒に考える発見する指導を大切にしたい。
4	学校は、学力向上に取り組んでいる。	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットの使い方は難しいです。使用時間のMAXはどのようになっているか・・・自由にするか制限するか。 ・2回ほどの授業参観でしたが、個別指導やICTを使った授業など指導方法を工夫して充実改善の様子がわかりました。 ・「話すこと」と「書くこと」の具体的な指導について教えていただきたい。 	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットを必要に応じて活用することができている。 ・少人数指導がありがたい。一人で手厚く見ることができると、学力が身に付いている。 ・各先生方が、タブレット端末を活用した授業を工夫されていてすごいと思います。 ・課題研究を中心に試行錯誤しながら学力向上に向けて努力されていると感じました。
5	学校は豊かな心を育む授業に取り組んでいる。	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が自主的に考え、授業以外にも行っている。 ・登下校時、すれ違う町民への挨拶が立派です。 ・道徳の題材選択を公開していただきたい。 ・二小NEWSで豊かな心を育む、様々な授業の様子を見せていただきました。 	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・学年の教材が蓄積されているのも良いと思います。また、先生方が児童の実態に応じて工夫して授業を行っているのを何度か目にしました。
6	学校は、「規律ある態度」の育成に取り組んでいる。	3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・ある日の登校時、引率の先生が後向きで児童とおしゃべりをしながら歩いていてとても危険でした。横断歩道も自分だけで普通に渡っていたので児童の安全を意識してほしいです。 ・来校の際はいつも子供たちが元気に挨拶をしてくれるのでとても気持ちよく感じます。 ・先生方もいつも丁寧な対応をしてくださっていますが、TPOに合わせた服装、身なりも大事かと思えます。 	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・素直な子供が多いので、指導すればその通りに行動できる子が多いと思います。 ・児童に対する言葉遣いや、日常の生活態度（ポケットに手を入れて歩かない、イスはきちんと座る等）等で、全職員が児童の手本となるように、今以上に日頃から気を付けていく必要があると思います。自分も気をつけます。 ・人の目を見て、挨拶ができる子が少ないので継続的に指導を行っていく必要があります。 ・あいさつ運動などの取り組みで挨拶を意識している児童が多いと思います。
7	学校は、児童生徒一人一人を大切にしている。	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人の児童が努力した成果を記録（思い出）として残す工夫（読書した累積数、歩いた累積距離、なわとび段表示等）があるとよい。 	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・特別活動や授業の中で子供たちが活躍できる場を与えていると思います。 ・命を大切に教育の充実を図るため、保健教育と連携して出前授業を行っています。
8	学校は、「健康・体力」の目標達成に取り組んでいる。	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・二小だけではないと思いますが、もう少し体力向上を考えてほしいと思います。 ・「体力目標値」の設定方法、向上方法を学校HPに掲載していただきたい（基礎体力に見合った方法発見、実行の援助） ・運動会での見事な演技、持久走大会に向けての練習風景を見させていただきました。運動能力テスト、陸上競技大会、持久走大会、泳力などの記録から、二小の実態について教えていただきたいと思いました。 	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・時間を工夫して、朝マラソンなどを継続していることは良いと思います。 ・体育部を中心に教材教具といった環境整備をしっかりと行ってほしい。運動は特に環境によって向上する。 ・朝マラソンや持久走大会前には楽間マラソンを行うなど時間を工夫されながら継続的に取り組んでいていいなと感じました。
9	学校は、学ぶ環境づくりに取り組んでいる。	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・「美化」とは草木を校庭から無くすことではありません。二小のシンボルツリー（500年後の巨木）植樹、小動物棲息用の草地確保・観察 ・教室や廊下など、校内の美化活動に力を入れている様子を見せていただきました。今年は猛暑で校外の環境整備は大変でした。 	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・事務職員、用務員の方が中心となり、校地校舎の整えてくださっており、児童にとってよい環境が整っている。 ・美化委員会の足元は良かったと思います。 ・言葉遣いが少し汚い児童がいる。学校だけでなく、保護者も連携しないと直せないと思うので、手紙等で周知するといいと思った。
10	学校は安心・安全な教育環境づくりに努めている。	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・高学年を対象に「起震車体験」（保護者も含めて）をすれば防災意識が高まります。（家庭用家具の転倒防止徹底） ・地域の方と連携し、通学路にある横断歩道を改善したことは素晴らしい実績です。 	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・安全主任が中心となり、多様な訓練を実施することができている。また、校外で安全が脅かされるような出来事があったとしても、職員が瞬時に手分けして対応することができている。 ・学校全体での訓練と、各学年での交通安全教室等、様々な形で子供たちが学べることは良いと思います。
11	学校は開かれた学校づくりを目指し、家庭・地域社会に積極的に情報提供を行っている。	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・HPに1日の1コマが載せてあり、保護者だけでなく地域の方にもわかりやすくとても良いと思います。 ・HPがリニューアルされ毎日の様子を見るのが楽しみです。 ・HPを作成し、開かれた学校づくりに意欲的です。アクセス数が増えるといいですね。二小NEWSは、学校の教育活動が事細やかに紹介され素晴らしいです。作成担当者の努力に敬意を表します。 	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・校長が中心となり、ホームページの更新を行っていることで、学校の様子が継続的に伝わっている。 ・ホームページなどこまめに更新されている、また、メールを活用してこまめに連絡がいくようになっていて、積極的な情報提供になっていると思います。
12	学校は、家庭・地域社会と連携協力し、問題解決に取り組んでいる。	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・通学路の狭い道路はさける。・通学の集合場所は安全か。 ・「不登校」理由には様々あると思います。しかし本人にとって「不本意」でしょうから絶対数を減らすような工夫・努力が大切です。 ・防犯パトロールの定期的実施や交通安全の立て看板の新設等、地域と団体との連携の様子がよくわかります。 ・狭い通学路を減速しない自動車があり危険を感じています。 	3.4	<ul style="list-style-type: none"> ・もっというんな教員が地域の方々とつながれるといいと思う。 ・コミュニティスクールとしての一人一人の意識が低く、校内だけ完結している。 ・多くの地域の方が協力して、児童の安全を見守っている。スクールカウンセラー等も来校し、連携しているので、安心する。

教育活動に関するアンケート調査結果（令和5年12月実施）全保護者対象



■ 1 よくあてはまる ▨ 2 ややあてはまる ▩ 3 あまりあてはまらない ▪ 4 あてはまらない

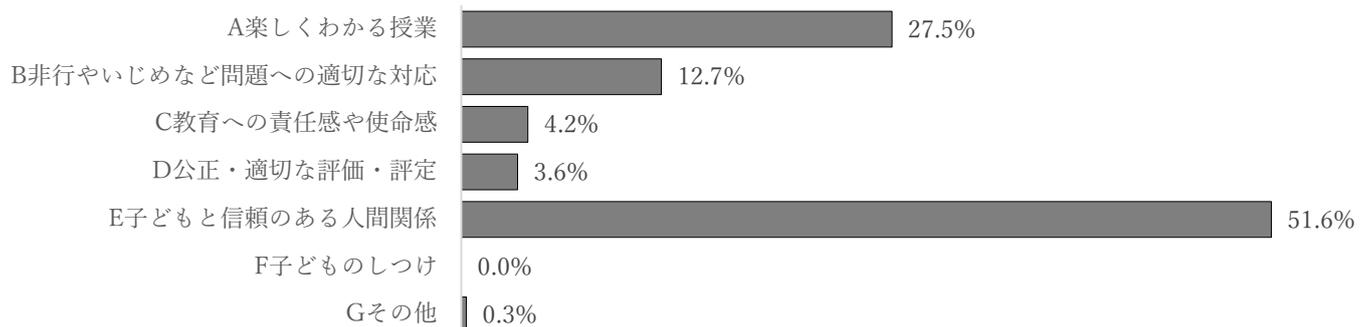
9 学校には、子どもにどのような力をつけてほしいと考えていますか。



10 D その他

- ・自己肯定力、能動的忍耐（1年）
- ・学力は勿論のこと、唯一家族以外の人たちと生活をする場なので、子供には全てのことを学んで欲しい。（3年）
- ・子供が楽しく通え、適正な学力や体力がつけば問題ないと考えています。（5年）

11 先生に望むことは、どのようなことですか。



12 G その他 特になし

ご協力ありがとうございました。